

三条商工会議所景況調査概況

【令和 8 年 4 月～6 月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO 調査＞）を毎月集計した令和 8 年 6 月の結果と、三条商工会議所で 3 ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 323 商工会議所が 2,414 企業にヒアリング。回答数 1,897 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 300 社以上を対象にアンケート調査。回答数 220 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員 DI は（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

6 月の全産業合計の業況 DI は、▲22.2（前月比＋2.1 ポイント）

引き続き全業種で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇等の影響が見られているが、中東情勢の緊張緩和に向けた動きや政府による対応の効果もあつてか、一部事業者からは供給再開や代替品の提供等による影響の軽減が指摘されている。こうした中、建設業・製造業・卸売業で設備投資需要がけん引する形で引き合いが見られたほか、小売業で価格転嫁に進展が見られ、改善した。

自治体による物価高対策の効果や夏のボーナスへの期待感が聞かれたものの、長引く物価高や円安の影響で消費マインドは弱めの動きが続いている。

先行き見通し DI は、▲23.2（今月比▲1.0 ポイント）

自治体による物価高対策や高水準での賃上げが下支えとなっているほか、中東情勢の戦闘終結に対する合意により、段階的な事態の収束が期待される。

一方、足もとの仕入価格の上昇が夏ごろに物価に波及するとの見通しもあり、今後の消費マインドへの悪影響も懸念される。また、国際情勢が不安定化する中、コスト高とその分の価格転嫁や人手不足等、依然として経営課題は山積しており、先行きは慎重な見方となっている。

全国の 6 月産業別業況

【建設業】

「中東情勢の影響に伴う資材価格の上昇や調達困難化の影響が継続しており、一部の同業他社からは受注の減少や工期の延期・縮小等が聞かれるが、全体としては設備投資需要がけん引する形で受注に持ち直しの動きがみられる」（一般工事業）、「ナフサショックにより当社が使用する資材の約 9 割が調達できなくなった」（塗装工事業）

【製造業】

「足もとで資材の調達困難化に解消の兆しが見られ始めている。政府のアナウンス効果で企業の不安感が多少和らいだ印象がある」（窯業・土石製品製造業）、「猛暑予想や省エネ基準改定前の安価な現行基準品に対する駆け込み需要を背景に、エアコン関連の受注が改善傾向にある。人手不足対策として搬送ロボットや AI の導入による生産性向上を図っている」（電気機械器具製造業）

【卸売業】

「AI 需要の拡大等から世界的に工作機械の需要が増加しており活況である」（機械器具卸売業）、「中東情勢の影響に落ち着きが見られ、一部商品については出荷が再開されたほか、代替品の提案も増えてきた。しかしながら、仕入価格の上昇は継続しており、販売先に価格改定を交渉している」（包装資材卸売業）

【小売業】

「自治体による物価高対策のキャンペーン施策の効果が大きく、一時的であるが売上が大幅に改善した」(総合スーパー)、「メーカーからの値上げ要請を踏まえ、全品1～2割程度の価格転嫁を実施する。売上は拡大が見込まれるが、衣料品の値上げがどこまで受け入れられるか不安もある」(衣料品小売業)

【サービス業】

「入手困難になっていたオイル類の調達環境は改善されつつあるが、価格高騰は継続している」(自動車整備業)、「足もとで地元客による部活やクラブチームの宴会予約が増加しているため、10年ぶりに一部料金の値上げを実施した。今後、売上・採算の改善が期待される」(飲食店)

【令和8年4月～6月期の三条地域の業況】

(※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。)

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和7年度第1四半期(R7年4～6月)比(以後、前年同期比という)では▲17(前期差3ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲25(前期差9ポイント増)、製造業が▲6(前期差6ポイント増)、卸売業が▲28(前期差±0ポイント)、小売業が▲27(前期差10ポイント減)、サービス業が▲13(前期差3ポイント増)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業、サービス業はDI値が増加、小売業はDI値が減少、卸売業はDI値が横ばいで推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲25(前期差9ポイント増)、採算DIは▲13(前期差11ポイント増)、売上額DIは▲3(前期差21ポイント増)、従業員DIは±0(前期差4ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DIは増加したが、従業員DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲6(前期差6ポイント増)、採算DIは▲11(前期差7ポイント減)、売上額DIは▲2(前期差12ポイント増)、従業員DIは+3(前期差15ポイント増)となり、業況DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、採算DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲28(前期差±0ポイント)、採算DIは▲11(前期差14ポイント増)、売上額DIは▲2(前期差25ポイント増)、従業員DIは+6(前期差14ポイント減)となり、採算DI、売上額DIは増加、従業員DIは減少、業況DIは横ばいで推移した。

【小売業】

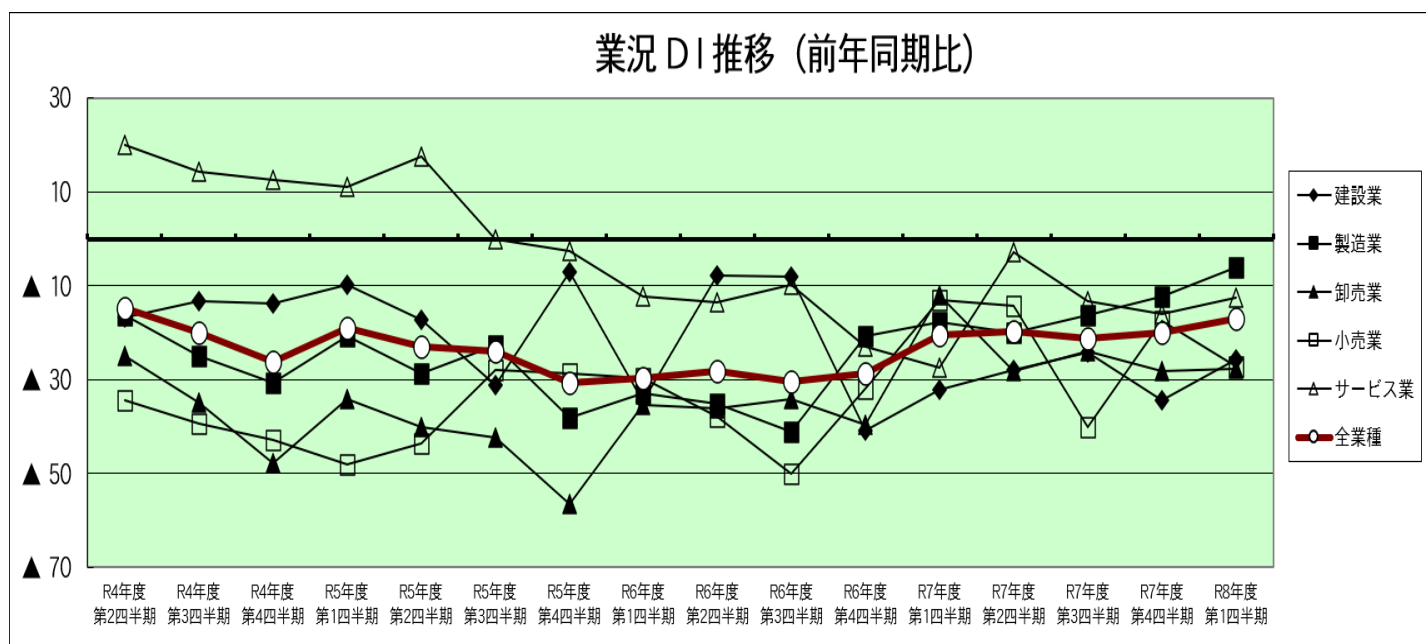
小売業では、前年同期比の業況DIは▲27(前期差10ポイント減)、採算DIは▲27(前期差27ポイント減)、売上額DIは▲14(前期差5ポイント減)、従業員DIは+9(前期差4ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲13(前期差3ポイント増)、採算DIは▲20(前期差±0ポイント)、売上額DIは▲10(前期差13ポイント増)、従業員DIは▲13(前期差6ポイント減)となり、業況DI、売上額DIは増加、従業員DIは減少、採算DIは横ばいで推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R4 年度			R5 年度				R6 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30
建設業	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35
製造業	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33
卸売業	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35
小売業	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30
サービス業	20	14	13	11	18	0	▲ 3	▲ 12
	R6 年度			R7 年度				R8 年度
	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期
全業種	▲ 28	▲ 30	▲ 29	▲ 21	▲ 20	▲ 21	▲ 20	▲ 17
建設業	▲ 8	▲ 8	▲ 41	▲ 32	▲ 28	▲ 24	▲ 34	▲ 25
製造業	▲ 35	▲ 41	▲ 21	▲ 18	▲ 20	▲ 16	▲ 12	▲ 6
卸売業	▲ 36	▲ 34	▲ 40	▲ 12	▲ 28	▲ 24	▲ 28	▲ 28
小売業	▲ 38	▲ 50	▲ 32	▲ 13	▲ 14	▲ 40	▲ 17	▲ 27
サービス業	▲ 14	▲ 10	▲ 23	▲ 28	▲ 3	▲ 13	▲ 16	▲ 13

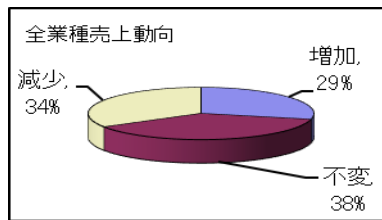


令和8年度 第1四半期(2026年4月～6月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

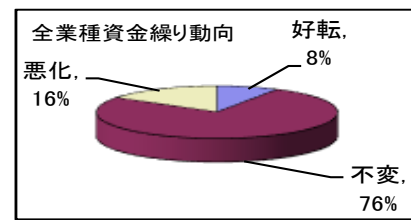
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	63	83	74
	%	29%	38%	34%
建設業	件数	7	17	8
	%	22%	53%	25%
製造業	件数	26	28	28
	%	32%	34%	34%
卸売業	件数	15	13	16
	%	34%	30%	36%
小売業	件数	4	11	7
	%	18%	50%	32%
サービス業	件数	11	14	15
	%	28%	35%	38%



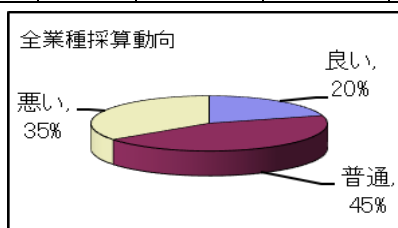
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	18	165	34
	%	8%	76%	16%
建設業	件数	1	28	3
	%	3%	88%	9%
製造業	件数	6	65	11
	%	7%	79%	13%
卸売業	件数	4	30	7
	%	10%	73%	17%
小売業	件数	1	16	5
	%	5%	73%	23%
サービス業	件数	6	26	8
	%	15%	65%	20%



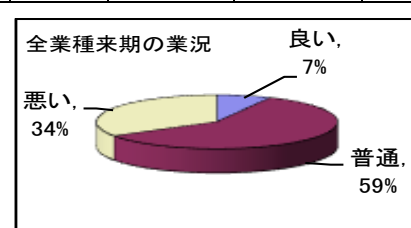
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	45	98	77
	%	20%	45%	35%
建設業	件数	6	16	10
	%	19%	50%	31%
製造業	件数	18	37	27
	%	22%	45%	33%
卸売業	件数	11	17	16
	%	25%	39%	36%
小売業	件数	3	10	9
	%	14%	45%	41%
サービス業	件数	7	18	15
	%	18%	45%	38%



業種別来期(2026.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	14	114	65
	%	7%	59%	34%
建設業	件数	3	14	10
	%	11%	52%	37%
製造業	件数	10	37	22
	%	14%	54%	32%
卸売業	件数	1	30	18
	%	2%	61%	37%
小売業	件数	0	8	6
	%	0%	57%	43%
サービス業	件数	0	25	9
	%	0%	74%	26%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>